

# 生涯学習部会

生涯学習部会は、学習と実践を繋ぐ役割を果たします。各部会が地域課題を解決するために、地域住民に周知を図り、啓発したい内容を持寄り、それを企画に練り上げ、講師を選定して「泉川ふるさと塾」を開設します。これまでは、高齢者講座、婦人講座、家庭教育講座といった対象限定講座でしたが、ふるさと塾は公民館だよりや口コミを通じて、地域の誰でも参加できる講座になっています。



泉川ふるさと塾(年金の話)



人権教育の一環として、ハンセン病療養施設大島青松園のパネル展示、現地訪問を行いました。

# 総務部会とグループサークル部会（未）

総務部会は、地域の土台である自治会（コミュニティ組織）のブロック長と各部会長で構成される会で、各部会で話し合われた内容の情報共有と地域住民への周知を図ります。また、まちづくり寄付金制度のプレゼンの場としての機能も持ちます。

公民館利用グループサークルは個人の要望を重視した住民が多く、自分達の活動を越えた繋がりには希望せず、公民館祭りを任せようと投げかけましたが、今年度は叶いませんでした。今後の検討課題ですね。



総務部会の風景



グループサークル部会発起人説明会の風景  
いまだ、部会発足には至らず。



## 評価と成果・・・地域の風土に明らかな変化が

「自分たちの地域は自分たちの力で」をみんなが口にするようになる。

1

- 子どもから高齢者までみんなで活動する機会が増えた。

2

- 受益者意識が薄れ、当事者意識が芽生え、膨らむ。

3

- タテ割り意識を脱却し、ネットワークのメリットを実感できた。

4

- 前例踏襲だけじゃなく、新規創造へのチャレンジが増えた。

5

- 学ぶことと実践が結び付く「知の循環型社会」が生まれる。

## 今後の課題

一年や二年を見て評価できないし、すべきではない。最低でも5年、できれば10年の長期的な視点で、じっくりと腰を据えて取り組むべきではないだろうか。

### 周りガヤガヤ竹やぶ 地域活動から脱出

- より多くの住民を活動に巻き込む仕掛け
- 2対8の原則からの脱却

### 分かりやすい将来ビジョンと目標の設定

- 単純明快な、誰もがイメージできる将来像
- よそ者・若者・馬鹿者の意見を尊重するまち

### よき地域風土とは何かを考え、実践する

- やってはいけないことはやらない。やらなければならないことはやる。
- 子どもが、大人の姿を見て育つ薫習のまちに



大好き泉川

小学校の壁面に  
キャッチフレーズが



# 新居浜市の社会教育主事の現状

## 社会教育主事有資格者(正規職員)

| 性別 | 50代      | 40代 | 30代以下 | 合計  |
|----|----------|-----|-------|-----|
| 男  | 9人(現職1人) | 1人  | 2人    | 12人 |
| 女  |          | 1人  |       | 1人  |
| 合計 | 9人       | 2人  | 2人    | 13人 |

内訳 : 現職1人・過去発令者8人・未発令者4人

## 社会教育主事有資格者の現在の職

市民部長・議会事務局長・財政課長・人事課長・地域福祉課長・生活福祉課長 他

現状では社会教育主事資格を持った者の公式な情報交換の機会は存在しない。

但し、インフォーマルな情報交換、日常的な業務遂行上の意思疎通は円滑

 **社会教育主事経験者ネットワーク会の設置 ・ 首長部局での発令**

## 公民館職員に対する研修機会 国立社会教育実践研究センター 社会教育主事講習B日程 インターネット ライブ配信 愛媛会場

- 地域主導型公民館への移行(正規職員を引き上げる)  
 公民館職員の資質向上の必要性が増大  
 泉川公民館を会場に実施  
 各単位の分散取得を認める。(1~3年で取得)  
 愛媛県教育委員会との連携(広域対応)

### 修了者数の推移

|      | 平成22年度              | 平成23年度 | 平成24年度 | 継続中 |
|------|---------------------|--------|--------|-----|
| 市内職員 | 修了者は0人<br>(概論のみ10人) | 4人     | 8人     | 9人  |
| 県内職員 |                     |        | 3人     |     |
| 県外職員 |                     | 1人     |        |     |
| 合計   | 0人                  | 5人     | 11人    | 9人  |

市内18公民館中13公民館に有資格者を配置

➡社会教育課との関係・資質向上のためのスキルアップ研修

# これからの社会教育主事の在り方

## 社会教育主事資格取得のメリット

➡ 意識の変容・プライドと責任感・新規事業への挑戦  
課題として

### 1. 社会教育主事の専門性の確保

人事ローテーション ↔ 公民館専門

社会教育課の新人に公民館職員の指導が可能か？

公民館職員の中から社会教育主事を発令し、指導させる。

2. 市民有志が社会教育主事講習を受講、様々な場面で登用  
活躍できる場を提供できるか？ 長い受講期間

3. インターネット受講の機会拡充、市民向け新規資格



# 公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム

- 地域課題解決のために、役に立つ公民館として打って出る格好の機会
- 新居浜市の公民館が予想以上に前向きに捉えたことへの喜びと不安
- 目指すは公民館の自前主義からの脱却、行政担当課はそれに増して...
- 学習と実践を結びつける手法を習得しなければ社会教育の強化はない。
- ソーシャルキャピタルがあっても、なくても、今やらなければ、いつできる
- 新しいネットワークが生まれることの意外性と有難さ、社会教育の醍醐味

この事業を通じて、日本中の公民館が持っているよき実践が情報共有され、新しい時代の公民館ネットワークを構築することを期待する。